

< 令和6年能登半島地震、富山での被災状況(1/10) >

24.01.14 togashi

1/07 に続いて 1/10 には、富山県内の地震被害視察として、湾岸沿いに伏木、高岡、新湊、富山蓮町を見て回りました。以下に列挙します。ただし、対象は県内の主だった所のみです。



富山県全図 富山県全図 HP より引用

[1] 富山県水墨美術館;設計者によれば震度5強(200-250gal 相当)でもびくともしない設計(C0=0.3)をしたので、無被害は当然とのこと。

[2] 富山県総合福祉施設サツツップ とやま;船の帆をイメージしたガラス張りの帆が落下の被害を受けていた。(写真では落下ガラス面の位置に幕がかぶせられている) カラス枠のクリアランスが大変形に対応できなかったのであろう。



[3] 富山市蓮町(富岩運河右岸域);富山駅北域を走るライトレール蓮町駅東側の新興住宅地において運河支流と平行な通りをいに液状化が発生。門柱や敷地境界上の石積みの崩壊、カーポートの傾斜、の被害あり。建物には目立った損傷なし。液状化域は細い道路沿いであった。道路建設の際に昔あった用水路を砂で埋めたとか、可能性が考えられる。



[4] 富山新港および新湊一帯；被害があると聞いていたが、市内をくまなく回っても発見できず。

[5] 高岡吉久(庄川河口左岸域)；伝建の指定を受けた古い街並みが現存する吉久地区では、まったくの無被害であった。当該地では砂地盤ではなかったということであろう。

[6] 高岡市伏木地区(小矢部川河口左岸域)；一帯が砂地盤。大規模な液状化が発生。建物の傾斜が多数あり。なかには側方流動と思われるような横倒し寸前の建物被害もあった。



[7] 氷見市姿地区(県境富山側)；一帯は古い木造建造物。道路にはみ出して倒壊した建物があった。被害としては、建物が傾斜したものが多かった。

